

会 報 教育者会議

平成22年12月6日

第19号

北海道

発行：北海道北方領土教育者会議

事務局：北方領土復帰期成同盟内 (電話) 011-205-6500 (FAX) 011-205-6501

〒060-0031 札幌市中央区北1条東1丁目2-5 明治安田生命札幌北1条東ビル7階

11月に北方領土教育研修会が相次いで開催されました。

《その1》 『北海道北方領土教育研修会』 (北方同盟主催)



○ 11月12日(金) 札幌市立山の 手南小学校

○ 公開授業 6年「戦争から平和への歩みを見直そう」

授業者：佐野浩志教諭

昨年度まで継続開催していた教育研究セミナーに替わる事業「北方領土教育実践普及活動事業」として開催されました。北海道社会科教育連盟、札幌市社会科教育連盟の全面的な支援を戴き、待望の札幌市で開催できたことはとてもうれしいことです。

◇ 講演 北海道教育庁学校教育局指導主事 伊藤伸一
『北方領土教育の現状と課題』

◇ 研究発表

① 札幌市立陵陽中学校 菅原 淳 教諭 [北方領土をどう教えるか]

② 中標津町立中標津中学校 丹野 聡 教諭

根室市立海星小中学校 近藤啓之 教諭

[根室管内における北方領土学習について]

③ 旭川市立緑ヶ丘中学校 工藤 亘 教諭 [北方領土に関する学習]

社会科学学習としてすばらしい力を見せてくれた子どもたちに感動し、“意図を明確にした”授業づくりに取り組んだ授業者の努力に感謝の拍手を送りたいと思います。授業者、提言者によるパネルディスカッションも行われ、助言も得て、これからの北方領土教育の充実と授業実践を広げる取り組みの大切さと具体的な動きを作っていくことの必要感を切に思いました。

※それぞれの資料を別刷で同封しますので、ぜひ参考にして教育者会議の会員として授業実践を重ねていってほしいと思います。

《その2》

『北海道北方領土教育者会議』

『実践交流会』

○ 11 月 13 日（土）KKRホテル札幌

教育者会議の会員に呼びかけた初の交流会でした。前日開催の前ページ記載の研修会に参加した会員を中心に 12 名参加と人数は少なかったのですが、小、中、高それぞれの先生が現状と実践を交流できたことは意義深いことでした。

やはり一人の意識のみで実践していくことはとても難しい面もあるのですが、どんな形でもいいから機会を創ってやっていくことが重要なことです。なかでもビザなし訪問参加を学校・生徒など周囲に発信するチャンスにしていた例が多く、同席した北方同盟の役員に教員の訪問参加を増やしてもらえるよう要望もしました。（重要課題“後継者育成”の近道だと思いますが、なかなか難しいことのようにです…）

北方領土教育実践普及活動事業に位置づけて開催できた初の会員交流でしたが、北方同盟ではこれからも開催できるよう努力したいと話していました。当会議の予算では不可能なので北方同盟の事業にのせていただけるよう今後も大いに期待していきたいと思います。

参加した会員の皆様、ほんとうにありがとうございました。

北方領土に関するどんな内容の活動でもかまいません。会員の皆様の現況など、お便りをお待ちしています。問い合わせも遠慮なくどうぞ。北方同盟の担当石部宛、あるいは山崎の下記Eメールアドレスにお送りください。

dorayama@chime.ocn.ne.jp

《その3》

平成 22 年度 第 27 回

『北方領土学習研究大会』

（主催 根室管内北方領土学習研究会）

11 月 17 日（水）

【公開授業】

小 5 年社会科「住みよいくらしと環境」

標津町立標津小学校 西村健太郎教諭



中 1 年社会科「日本の国土の広がりとは？」

標津町立標津中学校 平田直之教諭



今年度は《どこでもだれでもできる》社会科の学習として、新教科書を基にした提案授業で、指導案は別刷同封しますが、根室から全国に発信し得る内容でした。次年度にはその詳細が載った根室教育研究所の紀要が発行される予定です。ご期待ください。